

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

明治十六年八月六日
太政大臣三條實美
農商務卿西鄉從道
勅旨布告候事

八月四日
免兼檢事 會計検査院長兼沖繩縣令檢事 岩村 通俊
會計検査院長兼沖繩縣令 四位勳三等 岩村 通俊
兼任判事兼沖繩縣令 加藤
任内務省少書記官
任大藏省少書記官
從五位 長谷川方首
正六位 江川 英武

日本ノ貿易ハ不相應ニ幼稚ナリ
富國ノ道ハ農工商業ナシテ併行盛大ナラシムルコト在リ而シテ今ノ日本ノ有様ヲ見ルニ農工商ニ新ニ起スベキノ事業甚ク多クハ昔チク人ノ知ル所ニシテ日本ノ農工業ハ決シテ盛大ト云フベカラザルナリ然レハ我日本全國ノ富ナ増殖スルノ策ヲ案スルニ當リ農工商業何レノ点ニ於テ最モ不足ヲ感スルヤト云フニ我輩ハ農工業ノ不振ヲ感スルノ前ニ先ツ商業ノ不充ナルヲ感スルノ情甚ク深キヲ覺ルナリ

我日本ハ絶海ノ孤島ニシテ彈丸ノ地ナリ此狹小ナル地ニシテ久シク封建制度ノ下ニ沈ミ三百ノ小諸侯各其封土ニ割據シテ各コレヲ籠テ守ルノ時世ニアリテハ商業ノ第一義タル有無交通ノ道ノ如キハ殆ド絶無ノ有様ナリシ一小彈丸内ニ同住スルノ人コシテ東西相知ラズ相往來セズ互ニ天涯方里ノ想ヲ爲セシ時コアリテ商業ノ盛ナラザルハ毫モ怪シムニ足ヘモノナシ下明治四年ニ至リ封建廢セラレ郡縣起リ彈丸ノ地ナシテ中央ニ一政府ノ統轄ニ歸セシメシヨリ爾來勉メテ内國ノ交通ヲ便コノ商業ヲ奨メテグリト雖如何セシ數百年ノ宿弊一朝コシテ洗除スベカラズ漸ク舊來ノ習慣ヲ忘レテ新知ノ良法ニ從フノ跡ナキニアラズト雖未ダ以テ日本ノ商業チ一新スルニ足ラズ他ノ農工商業ニ比シテ尙ホ大ニ讓ル所アリテ免カレザルナリ

内國ノ商業既ニ斯ノ如シ海外ノ商業ニ關スルモノニ至リテハ無論見ルニ足ルモノアルベカラザルハ我輩ノ豫期スル所ナリト云フモノ、其不振幼稚ノ實況チ目擊スル毎ニ其本ダ甚クシキニ驚キ未ダ昔チ格敷セザルハアラザルナリ日本ノ農工商業ヨリ完全ナルコトアラズ西洋文明ノ知識チ以テコレニ改良チ加ヘハ尙ホ幾層ノ上進ヲ見ルベキヤ疑キ容レズト雖然レ此一事チ以テ日本現時ノ農工商業チ拙劣至極ノモノト斷スルハ大ナル間違ナリ日本ノ農工商業既ニ固有ノ美アリ此上大ニ改良チ加フルコトナキモコレチ文明國ノ農工商業ナリト稱シテ決シテ愧ハ所ナカルベシ又日本ノ工業ノ如キ是亦無論不完全ナルモノニシテ其改良チ加フベキ新ニ起スベキモノ枚擧グ連アラズコレチ其際次ノ農工商業ニ比スレバ更ニ一層ノ劣位ニ在ルモノト云ハザルベカラズ然レハ日本亦固有ノ工業チキニアラス唯當代文明ノ商會ニ稱スルニ堪ヘズ其劣位ニ在ルモノト云ハザルベカラズ

技術ニ於テハ開々或ハ西洋諸國ノ人チ驚カスニ足ルベキモノナキニアラス銅器漆器陶器等ノ如キハ其最モ著シキモノナリ故ニ今日日本國ノ有様チ通觀スルニ其農工商業ト云ヒ其工業ト云ヒ其固有ノ熟練ノミニ依賴スルモ隨分盛大ナル貿易チ維持シ得ベキ資力ナキコトアラズ況チ西洋文明ノ輸入以來我ガ短チ捨テ、彼ノ長チ取リ或ハ新ニ起ス所アル等農工商業ノ盛大チ計高スルモノ實ニ少ナカラズシテ次第ニ改良繁盛ノ傾向アルニ於テオヤ日本ハ決シテ貿易ノ材料ナキチ苦マサルベシ然ルニ今顧ミテ日本ノ商業チ見ルニ其不振幼稚ナル實ニ驚クニ堪エタリ農工商業ハコレチ西洋諸國ト比スルモ尙ホ幾分カ其地步チ有テ貿易ノ資チ得ベキ地位ニ在リナガラ獨リ商業ニ至リテハ決シテ然ラズ縱ニ封建制度ノ弊制チ脱シ得タルノミニテ未ダ大ニ其力チ舒ルニ至ラズコレチ彼ノ西洋諸國ノ商業ニ比スレバ其優劣幾等ノ差異アルヤチ知ルベカラズ其外國貿易ニ屬スル部分ノ如キハ唯外國人ノ自ガチ來テ賣買スルコト一任シ内國人ハ唯其成チ仰イテ喜憂スルノミニシテ其全務ニ干預セント企ル者アルコトナシ斯ノ如クコシテ改ムルコトチ知ラザレバ俄令日本ノ農工商業ハ何様ノ盛大ニ進ムルコトアルモ以テ國チ富スノ道タルコト能ハズ徒ラニ國民ノタメニ勞苦チ買フノ具タルニ過ギザルベシ國ノ憂コレヨリ大ナルコトナカルベキナリ

今日日本ノ貿易商人ナル者ハ他ノ種類ノ商人コト比スレバ頗ル伶俐活潑ニシテ世界ノ事情ニ通曉スルヲ稱スル人々ナリ然ルニ其實際ニ就テコレチ察スレバ決シテ伶俐活潑ナラズ決シテ世界ノ事情ニ通セズ依然トシテ封建時代ノ古町人ナル者十中ノ九ニ皆然リト爲スナリ例ヘバ本年三月米國政府ガ製茶ノ輸入チ禁止スルノ法令チ制定セタル以來在橫濱神戸等ノ外國商人ガ茶ノ吟味チ嚴ニシテ受テ買入レザルチ見テ日本ノ茶商人ハ大ニ嘆息シ米國ノ茶ハ日本茶ノ輸入チ禁止シテグナトテ俄爾ノ餘急ニ轉賣チ企ル者アル等茶商并ニ製茶人社會ノ慌恐一方チテ實業チ又自ガチ招ク所ノ損失實ニ容易チアラザルナリ若シ實業チ商人等コシテ米國ニ支店チ有スルカ或ハ米國ノ商店ト平時通信チテアルカ或ハ平時米國ノ新聞紙チ購讀シテアルカ或ハ單ニ日本ノ新聞紙ニテ米國ノ新聞紙チ購讀シテアルカ今此狼狽ナルチ見レバ此商人等ノ平生推テ知ルベキナリ又近頃安南事件ニ關シテ佛佛ノ真意漸ク露出シ佛佛ノ戰爭ニモ立至ルベキチ見テ日本ノ生糸賣買商等ハ頗ル憂懼ノ色アリ我輩コレチ訝リテ其理由チ叩クニ佛佛日清佛戰チ開カバ日本ノ生糸ハ忽チ販賣チ失フベシ十年前以前佛佛戰事ノ時ノ例チ以テ知ルベキナリ然レニ佛佛戰事ノ知ラズ十三年前ノ戰事ハ佛國チ購讀チ知ルモノナリ

諸達伺公報

農商務省第九號(別冊ノ續)

第二項 出賃スヘキ物品ハ本縣ニ於テ之ヲ管理シ第一項ノ制限ニ據リ左ノ手續ニ照シテ下渡スベシ 金品下渡ノ手續 米及糧附料 以上各口現在ノ人口チ計算シ移着ノ月ヨリ滿二ヶ月間每一ヶ月分其前月下旬ニ下渡スベシ 農具牛馬及種子物料 以上農業者手ノ緩急ニ應ジ移着ノ初年ニ限リ下渡スベシ 假屋作料 以上假屋ノ仕棟建坪及ビ給圖面等チ檢査シ積蓄ノ金銀相當ト認ムルハ出賃金額チ三分シ其一分チ作事着手ノ際ニ貸與シ殘ル二分チ假屋落成ノ後下渡スベシ 陸路荷物運送費 以上若船場ヨリ移住地迄六里以上十里未滿ハ一百金二圓五十錢十里以上二十里未滿ハ全上金五圓二十里以上三十里未滿ハ全上金七圓五十錢三十里以外ハ全上金十圓下渡スベシ 第三項 米及農具ノ類凡ソ現品チ以テ貸下ベキモノハ其時價チ概算シテ出賃金額ノ組入ルベシ 第四項 貸與金ハ其支出ノ遲速ニ保ハラズ都テ各自移着ノ月ヨリ起算シ滿七ヶ年間無利子據置型八ヶ年ヨリ向二十ヶ年間平平均七ヶ年十一月三十日限リ返納セシムルモノトス但若シ期日ニ至リ滞納スル者アルハ該滞納額一年一分ニ相當スル利子チ課シ滞納日數ニ應ジ徵收スベシ 第五項 凡ソ金品下賃與スルハ先ツ第二號書式ノ仕出チ出サシメ之ヲ檢査シテ其數額チ認メ更ニ第三號書式ノ檢査書チ檢査シテ下渡スベシ 第六項 出生死亡ハ其都度必届出シテ貸與金支出ノ控憑ニ供スベシ而シテ其出生者ハ届書受理ノ日ヨリ之チ貸與シ死亡者ハ死去ノ日ヨリ停止スベシ 第七項 貸與金額皆納ノ日迄ハ地所及家屋農具ノ類一切之チ他ニ賣貸讓與シ又ハ書入賃入ト爲スコト許サス 第八項 已チ得キル事故アリ則チ滞納ノ上ニ時地ニ依リテ往來日數五日以内ニ歸村スルハ不在中尙ホ旅費ノ米及糧附料チ貸與スベシ 第九項 若シ其日數六日以外ニ及ブハ歸着届書受理ノ日マテ一切之チ貸下サルベシ而シテ其數額ニ應ジ下渡スベシ 第十項 凡ソ規則ニ悖リ業務チ惰リ第四條第五項ノ貸與チ停止セシ後尙ホ課程チ怠ルノ場合ハ該アハ將來一切ノ貸與チ停止シ且ツ既ニ貸下タル金額ハ學費還納ノ約ニ係ラス即時ニ之チ充實セシムルベシ 第十一項 即時充實ノ得キルハ家屋及農具其他一切ノ所有物等チ公賣シテ其代價チ還納シ尙ホ不足チ生スルハ該借入レシテ償還セシムルベシ (以下省略)

叙任賞勳

時事新報

日本ノ貿易ハ不相應ニ幼稚ナリ

富國ノ道ハ農工商業ナシテ併行盛大ナラシムルコト在リ而シテ今ノ日本ノ有様ヲ見ルニ農工商ニ新ニ起スベキノ事業甚ク多クハ昔チク人ノ知ル所ニシテ日本ノ農工業ハ決シテ盛大ト云フベカラザルナリ然レハ我日本全國ノ富ナ増殖スルノ策ヲ案スルニ當リ農工商業何レノ点ニ於テ最モ不足ヲ感スルヤト云フニ我輩ハ農工業ノ不振ヲ感スルノ前ニ先ツ商業ノ不充ナルヲ感スルノ情甚ク深キヲ覺ルナリ

我日本ハ絶海ノ孤島ニシテ彈丸ノ地ナリ此狹小ナル地ニシテ久シク封建制度ノ下ニ沈ミ三百ノ小諸侯各其封土ニ割據シテ各コレヲ籠テ守ルノ時世ニアリテハ商業ノ第一義タル有無交通ノ道ノ如キハ殆ド絶無ノ有様ナリシ一小彈丸内ニ同住スルノ人コシテ東西相知ラズ相往來セズ互ニ天涯方里ノ想ヲ爲セシ時コアリテ商業ノ盛ナラザルハ毫モ怪シムニ足ヘモノナシ下明治四年ニ至リ封建廢セラレ郡縣起リ彈丸ノ地ナシテ中央ニ一政府ノ統轄ニ歸セシメシヨリ爾來勉メテ内國ノ交通ヲ便コノ商業ヲ奨メテグリト雖如何セシ數百年ノ宿弊一朝コシテ洗除スベカラズ漸ク舊來ノ習慣ヲ忘レテ新知ノ良法ニ從フノ跡ナキニアラズト雖未ダ以テ日本ノ商業チ一新スルニ足ラズ他ノ農工商業ニ比シテ尙ホ大ニ讓ル所アリテ免カレザルナリ

内國ノ商業既ニ斯ノ如シ海外ノ商業ニ關スルモノニ至リテハ無論見ルニ足ルモノアルベカラザルハ我輩ノ豫期スル所ナリト云フモノ、其不振幼稚ノ實況チ目擊スル毎ニ其本ダ甚クシキニ驚キ未ダ昔チ格敷セザルハアラザルナリ日本ノ農工商業ヨリ完全ナルコトアラズ西洋文明ノ知識チ以テコレニ改良チ加ヘハ尙ホ幾層ノ上進ヲ見ルベキヤ疑キ容レズト雖然レ此一事チ以テ日本現時ノ農工商業チ拙劣至極ノモノト斷スルハ大ナル間違ナリ日本ノ農工商業既ニ固有ノ美アリ此上大ニ改良チ加フルコトナキモコレチ文明國ノ農工商業ナリト稱シテ決シテ愧ハ所ナカルベシ又日本ノ工業ノ如キ是亦無論不完全ナルモノニシテ其改良チ加フベキ新ニ起スベキモノ枚擧グ連アラズコレチ其際次ノ農工商業ニ比スレバ更ニ一層ノ劣位ニ在ルモノト云ハザルベカラズ然レハ日本亦固有ノ工業チキニアラス唯當代文明ノ商會ニ稱スルニ堪ヘズ其劣位ニ在ルモノト云ハザルベカラズ

技術ニ於テハ開々或ハ西洋諸國ノ人チ驚カスニ足ルベキモノナキニアラス銅器漆器陶器等ノ如キハ其最モ著シキモノナリ故ニ今日日本國ノ有様チ通觀スルニ其農工商業ト云ヒ其工業ト云ヒ其固有ノ熟練ノミニ依賴スルモ隨分盛大ナル貿易チ維持シ得ベキ資力ナキコトアラズ況チ西洋文明ノ輸入以來我ガ短チ捨テ、彼ノ長チ取リ或ハ新ニ起ス所アル等農工商業ノ盛大チ計高スルモノ實ニ少ナカラズシテ次第ニ改良繁盛ノ傾向アルニ於テオヤ日本ハ決シテ貿易ノ材料ナキチ苦マサルベシ然ルニ今顧ミテ日本ノ商業チ見ルニ其不振幼稚ナル實ニ驚クニ堪エタリ農工商業ハコレチ西洋諸國ト比スルモ尙ホ幾分カ其地步チ有テ貿易ノ資チ得ベキ地位ニ在リナガラ獨リ商業ニ至リテハ決シテ然ラズ縱ニ封建制度ノ弊制チ脱シ得タルノミニテ未ダ大ニ其力チ舒ルニ至ラズコレチ彼ノ西洋諸國ノ商業ニ比スレバ其優劣幾等ノ差異アルヤチ知ルベカラズ其外國貿易ニ屬スル部分ノ如キハ唯外國人ノ自ガチ來テ賣買スルコト一任シ内國人ハ唯其成チ仰イテ喜憂スルノミニシテ其全務ニ干預セント企ル者アルコトナシ斯ノ如クコシテ改ムルコトチ知ラザレバ俄令日本ノ農工商業ハ何様ノ盛大ニ進ムルコトアルモ以テ國チ富スノ道タルコト能ハズ徒ラニ國民ノタメニ勞苦チ買フノ具タルニ過ギザルベシ國ノ憂コレヨリ大ナルコトナカルベキナリ

今日日本ノ貿易商人ナル者ハ他ノ種類ノ商人コト比スレバ頗ル伶俐活潑ニシテ世界ノ事情ニ通曉スルヲ稱スル人々ナリ然ルニ其實際ニ就テコレチ察スレバ決シテ伶俐活潑ナラズ決シテ世界ノ事情ニ通セズ依然トシテ封建時代ノ古町人ナル者十中ノ九ニ皆然リト爲スナリ例ヘバ本年三月米國政府ガ製茶ノ輸入チ禁止スルノ法令チ制定セタル以來在橫濱神戸等ノ外國商人ガ茶ノ吟味チ嚴ニシテ受テ買入レザルチ見テ日本ノ茶商人ハ大ニ嘆息シ米國ノ茶ハ日本茶ノ輸入チ禁止シテグナトテ俄爾ノ餘急ニ轉賣チ企ル者アル等茶商并ニ製茶人社會ノ慌恐一方チテ實業チ又自ガチ招ク所ノ損失實ニ容易チアラザルナリ若シ實業チ商人等コシテ米國ニ支店チ有スルカ或ハ米國ノ商店ト平時通信チテアルカ或ハ平時米國ノ新聞紙チ購讀シテアルカ或ハ單ニ日本ノ新聞紙ニテ米國ノ新聞紙チ購讀シテアルカ今此狼狽ナルチ見レバ此商人等ノ平生推テ知ルベキナリ又近頃安南事件ニ關シテ佛佛ノ真意漸ク露出シ佛佛ノ戰爭ニモ立至ルベキチ見テ日本ノ生糸賣買商等ハ頗ル憂懼ノ色アリ我輩コレチ訝リテ其理由チ叩クニ佛佛日清佛戰チ開カバ日本ノ生糸ハ忽チ販賣チ失フベシ十年前以前佛佛戰事ノ時ノ例チ以テ知ルベキナリ然レニ佛佛戰事ノ知ラズ十三年前ノ戰事ハ佛國チ購讀チ知ルモノナリ

諸達伺公報

農商務省第九號(別冊ノ續)

第二項 出賃スヘキ物品ハ本縣ニ於テ之ヲ管理シ第一項ノ制限ニ據リ左ノ手續ニ照シテ下渡スベシ 金品下渡ノ手續 米及糧附料 以上各口現在ノ人口チ計算シ移着ノ月ヨリ滿二ヶ月間每一ヶ月分其前月下旬ニ下渡スベシ 農具牛馬及種子物料 以上農業者手ノ緩急ニ應ジ移着ノ初年ニ限リ下渡スベシ 假屋作料 以上假屋ノ仕棟建坪及ビ給圖面等チ檢査シ積蓄ノ金銀相當ト認ムルハ出賃金額チ三分シ其一分チ作事着手ノ際ニ貸與シ殘ル二分チ假屋落成ノ後下渡スベシ 陸路荷物運送費 以上若船場ヨリ移住地迄六里以上十里未滿ハ一百金二圓五十錢十里以上二十里未滿ハ全上金五圓二十里以上三十里未滿ハ全上金七圓五十錢三十里以外ハ全上金十圓下渡スベシ 第三項 米及農具ノ類凡ソ現品チ以テ貸下ベキモノハ其時價チ概算シテ出賃金額ノ組入ルベシ 第四項 貸與金ハ其支出ノ遲速ニ保ハラズ都テ各自移着ノ月ヨリ起算シ滿七ヶ年間無利子據置型八ヶ年ヨリ向二十ヶ年間平平均七ヶ年十一月三十日限リ返納セシムルモノトス但若シ期日ニ至リ滞納スル者アルハ該滞納額一年一分ニ相當スル利子チ課シ滞納日數ニ應ジ徵收スベシ 第五項 凡ソ金品下賃與スルハ先ツ第二號書式ノ仕出チ出サシメ之ヲ檢査シテ其數額チ認メ更ニ第三號書式ノ檢査書チ檢査シテ下渡スベシ 第六項 出生死亡ハ其都度必届出シテ貸與金支出ノ控憑ニ供スベシ而シテ其出生者ハ届書受理ノ日ヨリ之チ貸與シ死亡者ハ死去ノ日ヨリ停止スベシ 第七項 貸與金額皆納ノ日迄ハ地所及家屋農具ノ類一切之チ他ニ賣貸讓與シ又ハ書入賃入ト爲スコト許サス 第八項 已チ得キル事故アリ則チ滞納ノ上ニ時地ニ依リテ往來日數五日以内ニ歸村スルハ不在中尙ホ旅費ノ米及糧附料チ貸與スベシ 第九項 若シ其日數六日以外ニ及ブハ歸着届書受理ノ日マテ一切之チ貸下サルベシ而シテ其數額ニ應ジ下渡スベシ 第十項 凡ソ規則ニ悖リ業務チ惰リ第四條第五項ノ貸與チ停止セシ後尙ホ課程チ怠ルノ場合ハ該アハ將來一切ノ貸與チ停止シ且ツ既ニ貸下タル金額ハ學費還納ノ約ニ係ラス即時ニ之チ充實セシムルベシ 第十一項 即時充實ノ得キルハ家屋及農具其他一切ノ所有物等チ公賣シテ其代價チ還納シ尙ホ不足チ生スルハ該借入レシテ償還セシムルベシ (以下省略)

叙任賞勳

時事新報

日本ノ貿易ハ不相應ニ幼稚ナリ

